

[道政かわら版 第17号]

喜多龍一十勝連合後援会

〒089-0533

中川郡幕別町札内新北町74番地16

TEL/(0155)56-7755

FAX/(0155)56-7766

発行責任者/千葉 幹雄

発行日/平成25年1月7日

http://www.kitaryu.com



道政かわら版

RYUICHI KITA DOUSEI KAWARABAN No.17



北海道・東北六県議会議長会議

迎春 巳

2013 新年あいさつ



北海道議会議長
喜多龍一

あけましておめでとうございます。

昨年は私の名前の由来でもある辰(龍)年であり、二年間の議長任期の核となる年でもありましたが、まさに国内外を飛び回った二年でありました。

道議会においては、本道の防災体制や原発エネルギー政策、さらには経営危機に見舞われたHAC(北海道工アシステム)の経営改革

問題をはじめ、経済・雇用、地域医療対策など道政の各般において活発な議論が交わされました。

また、私が副会長を務める全国議長会をはじめ他府県との広域的な連携の場では、新幹線の札幌延伸や冬期間における電力需給、TPP問題などの重要課題について、総理をはじめ政府関係者等に対し、時には全国を代表し、時には北海道の立場から、様々な主張をして参りました。また、「国と地方の協議の場」や「地方制度調査会」などで「都市がひとりでも成り立ってきたか」など、地方の立場から意見・提言をして参りました。

さらに昨年は、国際面においても、本道の未来戦略にとって重要な鍵となる幾つかの種を蒔くことができました。

道議会では、平成十二年からサハリン州と相互交流を行っておりますが、今ロシアでは、極東発展省を設立するなど極東重視政策を強力に進めておりますので、私としては何とか議会レベルでの交流を進めたいと考え、昨年ハバロフスクで開催された道とロシア極東地域との定例会議に議会として初めて参加し、政府、議会関係者等と懇談を行いました。

その結果、ロシア側からは農業や医療、教育などの分野で多くの示唆に富んだ話を聞くことができ、議会交流についても共通認識を得ることができたことから、今年度中にもハバロフスク地方立法議会議長二行の来道が実現することとなりました。

北海道とロシアの関係が、従来のサハリン



国と地方の協議の場

州から極東ロシアへと拡大することにより、今後、本道の持つ農業技術、寒冷地技術の活用など様々な分野での交流が期待されます。

また、十月には新千歳空港からホノルルとバンコクへの直行便が就航しました。

私も経済団体や教育関係者などとともに両地域を訪れ、各分野の関係者と意見交換を行いました。観光や教育等の分野で大きな可能性を感じさせるものであります。

特にタイを中心とする東南アジア諸国では、急速な経済成長に併せて日本、とりわけ北海道への関心が高まっております。親国民性とあわせ、今後の観光インバウンドや道産食材等の輸出先として極めて有望な地域であることを確信しましたので、私としても積極



TPP協定交渉に関する要請活動

的なプロモーション活動をサポートしていきたくと考えています。中国、韓国とは、様々な課題を抱えながらも、引き続き太いパイプで付き合いなければなりません。情報交通網が進む中、我々はもっと巨視的な視野を持って本道の発展戦略を考えていかなければなりません。

もちろん我が国に対して最も親日的な台湾との友情は、損得抜きで大切にしていかなければなりません。新年度からは、私の働きかけでJICA事業に採択されたモンゴルへの植林事業が三カ年計画でスタートします。こうしてみると、極東ロシア、モンゴル、東アジア、東南アジアという我が国を取り巻く近隣諸国との交流の可能性は、ここに来て急速に拡大していることが分かります。そしてそのいずれもが北海道に特別の秋波を送ってくれています。

北海道新幹線新函館開業は三年後です。

本道発展の鍵は、北海道と北東北をひとつの経済圏として捉え、国内と極東ロシアから東南アジア諸国までを見据えた未来戦略にかかっているのではないのでしょうか。

いま、政権は再び自民党の手に戻りました。この三年半の国民に対する大きな負の時間を、新生自民党がどう取り戻していけるのか、すべてはこれからにかかっています。しかし、外交、経済、エネルギー、社会保障等々、いずれも懸念は尽きません。そして何よりもTPP問題



拙速なTPP交渉参加表明に反対する道民集会

です。日中韓FTAやRCEP(東アジア地域包括的経済連携)が交渉開始される中、我が国の二次産業を崩壊に導くTPPに拘る必要性はいったいどこにあるのでしょうか。

私の議長としての任期も残すところ5ヶ月あまりとなりました。この残された期間、議長としての役割を果たすとともに、TPPや原発エネルギー政策など国政に対しても地方の立場からしっかりと物を言い、あわせてこれまで私自身が蒔いた種に水をやり、芽吹かせることが私の使命だと思っています。

皆様には変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。



喜多龍一十勝連合後援会
会長 千葉 幹雄

新年あいさつ
2013

皆様新年あけましておめでとうございます。

喜多議長は議長就任以来、国内外を飛び回り、北海道のため十勝のために活躍されています。このような活躍も後援会の皆様のご理解とご協力があつてこそと心から厚くお礼申し上げます。

統一地方選挙前(平成二十三年)泉 耕治前会長は、「統一地方選挙の最大の争点はTPP問題。我等が喜多道議は先頭に立って頑張るものと確信しております」と、述べていました。その言葉通り、全国の地方の代表として全力で頑張っている姿を見たとき誇らしくもあり、頼もしくもあります。いよいよTPP問題は佳境に入りました。私も前会長同様、喜多議長は地方の立場から、全力を尽くしていただけるものと確信しております。

そのためにも更なるご支援とお力添えを心からお願ひ申し上げます。

今年も皆様にとりまして幸せ多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



2012年 新聞記事から

十勝毎日新聞 平成二十四年一月九日

被災地の親子と 市民ら交流

カタールが支援 夕張で「キャンプ」

【夕張】カタールによる東日本大震災の教育・福祉復興支援事業「北海道夕張・親子で雪ん子冬のリフレッショナル」の一環で、8日、夕張市内のホテルで



カタールのアフマド臨時大使（右から2人目）を交えて開かれた交流会

同国大使館のアフマド臨時大使を迎え、夕張市民と東北3県から訪れている被災親子が交流した。

同事業はカタールが支援金として日本に1億ドル（約78億円）を寄付。夕張市の鈴木直道市長が知り合いの日本・カタール友好議員連盟幹事の石原洋三郎衆院議員（福島県選出）に働きかけ、福島、宮城、岩手の親子700人を夕張に招いた。キャンプは6、9日に開かれ、スキー場で遊んだり、旭山動物園、札幌市のホワイトイルミネーションなどを見学した。

交流会ではアフマド臨時大使が「東日本大震災を方々の元気が見えない。子供たちの元気な顔が見たい」とあいさつ。同議員連盟会長の判野豊衆院議員（愛知県）、鈴木市長が歓迎の言葉を述べた。竹林孝道総合政策部地域振興監、喜多龍一、道議会議長が「東北・北海道の知事会、議長会を通じて支援を続けたい」などと述べた。（成田融）

同国大使館のアフマド臨時大使を迎え、夕張市民と東北3県から訪れている被災親子が交流した。

十勝毎日新聞 平成二十四年一月十四日

「新得地鶏」知事にPR

浜田町長ら「大きな販路確立」

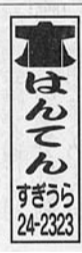


高橋知事を訪問した浜田町長、米山社長、喜多議長、武田代表理事（左から）

【札幌】新得町の浜田正利町長ら13日、道庁を訪ね、同町の新たな特産品「新得地鶏」をPRし、高橋はるみ知事にPRした。

浜田町長のほか、同地鶏を生産する十勝・新得フレッシュ地鶏事業協同組合の武田直幸代表理事、札幌や東京などで同地鶏をメインとした居酒屋「十勝新得町塚田農場」を経営するA.P.カンパニー（東京）の米山久社長らが訪問、喜多龍一、道議会議長が同行した。浜田町長は「同店のオープンで、大きな販路を確立できた。これまで来られたのは多くの方の力が結果した結果」と話していた。

米山社長は「ただ売っただけでなく、飲食を通じて生産者の思いを伝え、地域の活性化するのがわれわれのビジネスモデル。ゆくゆくは2000〜3000人の雇用につなげたい」と話していた。



高橋知事は「全国で人気の高い北海道の物産の中でも鶏肉の分野はこれからぜひ頑張ってもらいたい」と期待を寄せた。（山下聡実）

十勝毎日新聞 平成二十四年五月二十六日

政治 スポット

喜多龍一 道議会議長 （十勝区）が来社 25日、十勝毎日新聞社を 訪れた。

喜多氏は23日に岩手県宮古市で震災がれきの仮置き場を視察したことに付いて触れ、「広域処理の必要性を国にもっと説明してもらわなければ、住民の合意に至らない」と述べた。写真。同日には同県盛岡市で開か



れた北海道・東北六県議会議長会合にも出席した。また、6月の定例道議会議事（ロシア・サハリン州議会との相互交流について語り、「北海道が将来を生きていく道を、どう切り開いていくかが重要だ」と話した。

十勝毎日新聞 平成二十四年二月十六日

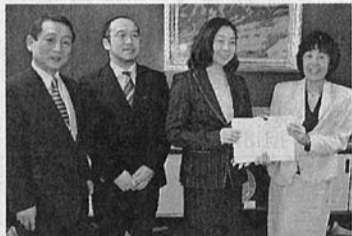
福島の子どもたち支援を プロジェクト 協議 会 知事に活動報告

協 議 会 知事に活動報告

福島県から子どもたちを受け入れる活動をしている「子供を守るプロジェクト協議会」（安江こすめ会長）は13日、道庁を訪れ、高橋はるみ知事に活動を報告し、子供たちの作文を手渡した。

同協議会はNPO法人教育支援協会（本部帯広）が中心になり、福島第1原発事故の影響から福島の子供たちを守る活動を展開している民間団体と連携し、健全育成を支援している。

昨年夏には「ふくしまキッズ夏季林間学校」、年末には「ふくしまキッズ北海道冬プログラム」を道庁の市町村で開催した。この日は安江会長、宮本



高橋知事（右）に作文を手渡す喜多議長、宮本副会長、安江会長（左から）

英樹副会長のほか、活動に協力している喜多龍一、道議会議長も出席し、高橋知事に子供たちの作文、感想文を手渡した。喜多議長、安江会長は「外で遊ばない、

土に触れないといった悲痛的な文面で涙なくしては語れない」と伝えた。今後は夕張を中心に、十勝でも開催する計画で、道にも今後の活動への理解、協力を求めた。

十勝毎日新聞 平成二十四年五月四日

広尾の海の幸アピール 観光協会が東京でまつり出店

【広尾・東京】町観光協会の立川強会長は4月29日、東京都荒川区東尾久運動場で開催された「第26回



多くの来場者でにぎわった広尾町のブース

同まつりは荒川最大のイベントで、今回も約7万人を集客している。町観光協会の出店は2回目、村瀬優町長ら7人が参加。上京中だった喜多龍

一、道議会議長や東京広尾会の小林英男会長も応援に駆け付け、シヤモやタコ珍味など広尾自慢の海産品を販売。首都圏で品薄が続くホッケなども人気を集めた。同協会事務局では「広尾を東京の皆さんにアピールできたと思う。集客力の強いイベントで、来年以降も出店を継続したい」と話していた。（長田純一）

2012年新聞記事から

十勝毎日新聞 平成二十四年四月二十四日

【札幌】第216回北海道府県議会が24日午後3時から札幌市内のホテルで開かれ、地方自治法の改正を踏まえた議会会期など共通課題について意見を交わした。

政令市を抱える北海道の他、増玉、千葉、東京、神



奈川、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、広島、福岡の各都道府県議会議長、副議長と事務局長が参加。道議会の喜多龍一議長が座長を務めた。

喜多議長が「法改正とは別に、議会の会期を通常とする動きも出ている。広域自治体と基礎自治体の関係についても、幅広く認識を聞かせてほしい」とあいさつ。高橋は「知事が歓迎の言葉を述べた。議事では一年4回の定例会と毎月の特任、特別委員

【東京】高橋は「北海道の道知事は27日、民主党や農林水産省などを訪れ、環太平洋連携協定(TPP)交渉に参加しないよう改めて要請した。

9月にアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議と国連総会が開かれ、首脳間協議でTPP参加問題が進む懸念があるとして要請活動を行った。

高橋知事は農水省で郡司彰大臣に対し、「TPP反



対というオール北海道の意思を理解してほしい」と述べて、国民合意がままに求めた。郡司農水相は高橋知事の懸念に理解を示し、9月に日本の参加問題が進展するのは時間的に難しいとの認識を示した。要請活動には、道議会の喜多龍一議長や小野寺秀雄総合政策委員会委員長、JA道中央会の飛田稔章会長、道農民連盟の山田富士雄委員長らも参加した。

(池谷智仁)

十勝毎日新聞 平成二十四年八月二十八日



【札幌】第216回北海道府県議会が24日午後3時から札幌市内のホテルで開かれ、地方自治法の改正を踏まえた議会会期など共通課題について意見を交わした。

政令市を抱える北海道の他、増玉、千葉、東京、神

ニューカントリー 平成二十五年一月号

国家の食糧戦略が欠如「活性化」の答え出す



道議会議長

喜多 龍一

農村活性化で何ができるか。何度繰り返された問い掛けであろうか。これまでに、生産基盤を整え、担い手の育成確保に手をつくし、高収益作物の導入やグリーン農業を推進してきた。さらには、付加価値向上やブランド化に努め、食育やグリーンツーリズムを展開し、マーケティングやプロモーション活動にも精を出し、農業者や自治体はあらゆる努力を続けてきたし、今も続けているのだ。しかし「なぜ過疎なのか」という自問も永遠の課題のように続いている。

もちろん課題はまだまだある。新しい可能性を感じさせる取り組みや意欲あふれる若手農業者は全道各地に見られる。また、北海道フードコンプレックス構想は、本道産業の起爆剤となり得るし、道内の力を結集して推進しなければならぬ。しかし、そうした可能性をさまざま論じて、政治家として指摘せざるを得ないのは「国家としての食糧戦略の欠如」である。

国際的な自由貿易のルールづくりが進む今日、国の未来像をどう描くのか。ともすれば農村切り捨てに走りながら、国と地方や都市と農村の役割など明確な戦略の下、農政のビジョンを明らかにしない限り、いつまでも「農村の活性化」という出口のない問い掛けを続けなければならない。

十勝毎日新聞 平成二十四年十月二十三日

志村選手「さらに努力」

女子野球 W杯3連覇で知事表彰

「栄誉をたたえて」を贈呈された志村選手(右から2人目)と金選手(同3人目)。右は高橋知事、左は喜多議長



【札幌】道は22日、女子野球ワールドカップ(W杯)8月・カナダで史上初の3連覇を達成した日本代表の志村亜貴子(29)・川尾町出身と金由起子(35)・留萌管内天塩町出身の両選手に、「栄誉をたたえて」を贈呈した。志村選手は「これで終わることなくこれからも努力し、また皆さんに良い報告ができるよう頑張りたい」と語った。賞はスポーツや文化で顕著な活躍をした団体・個人に贈られる。十勝からの受

賞は1995年のスピードスケートの清水宏保選手以来となる。

日本代表は2年ごとに開かれるW杯に、2004年の第1回から参加。志村選手は4大会連続で出場し、第5回の今大会はキャプテンとしてチームをけん引した。金選手は打点主に輝くなど3連覇に貢献した。

贈呈式には川尾町出身の喜多龍一議長も出席。高橋は「道民に勇気と夢を与えてくれた」とたたえ、2人に表彰状を贈呈した。金選手は「こんな日が来るとは思っていませんでした。女子野球を認めてもらってうれしい」と喜んでいました。(山下聡実)

新千歳線増便に意欲

ハワイアン航空社長示す

高井副知事表彰



【札幌】高井副知事は16日午後(日本時間17日午前)、ハワイアン航空の新千歳-ホノルル線就航を受け、ホノルル市内の同社本社を表彰訪問した。マーク・タンカー社長は「素晴らしいアイデア」と前向きに検討する意向を示した。

(北海道とハワイ間の)人と貨物の往来を増やしたい。増便も視野に入れている」と述べ、週3往復からの増便に意欲を示した。

一行は高井副知事や喜多龍一議長、伊藤義郎北海道商工会議所連合会名誉会頭ら18人。直行便就航のお礼などため、14日から5日間の日程で

【ホノルル山本武史】道の高井副知事は16日午後(日本時間17日午前)、ハワイアン航空の新千歳-ホノルル線就航を受け、ホノルル市内の同社本社を表彰訪問した。マーク・タンカー社長は「素晴らしいアイデア」と前向きに検討する意向を示した。

(北海道とハワイ間の)人と貨物の往来を増やしたい。増便も視野に入れている」と述べ、週3往復からの増便に意欲を示した。

一行は高井副知事や喜多龍一議長、伊藤義郎北海道商工会議所連合会名誉会頭ら18人。直行便就航のお礼などため、14日から5日間の日程で

2012年新聞記事から

十勝毎日新聞 平成二十四年九月一日

都道府県議長会が来勝 農業視察「TPPでだめになる」 農意見交換



土幌の鈴木牧場でバイオガスプラントを視察する委員会のメンバーら。手前左は喜多議長

全国都道府県議長会が来勝し、農業視察を行った。議長は「TPPでだめになる」と発言した。視察は、土幌の鈴木牧場でバイオガスプラントを視察した。議長は「TPPでだめになる」と発言した。視察は、土幌の鈴木牧場でバイオガスプラントを視察した。議長は「TPPでだめになる」と発言した。

議長は「TPPでだめになる」と発言した。視察は、土幌の鈴木牧場でバイオガスプラントを視察した。議長は「TPPでだめになる」と発言した。視察は、土幌の鈴木牧場でバイオガスプラントを視察した。議長は「TPPでだめになる」と発言した。

容にしたい。農業に関する件は国が責任を持つてやることを伝える」と話した。
(関坂典生、津田恭平)



喜多龍一氏

喜多道議長会議長 ロシア訪問へ 15日から

【札幌】道議会の喜多龍一議長は15日からロシアのハバロフスク市、ウラシオフ市などを訪問、北海道とロシア連邦極東地域との

の経済協力に関する合同委員会の定例会議に道議会議長として初めて出席する。喜多議長は昨年5月に議長に就任後、香港や上海、アメリカなどを訪れ、積極的に北海道の観光や道産品をPRしている。

ロシアはプーチン政権になってから、今年春には極東・シベリア開発を担う「極東発展相」を新設するなど、極東、アジア地域を重視した政策を展開している。これまで道はロシア、極東域と林業、漁業などに関する寒冷地における技術交流などを行っている。会議は今回で18回目となり、経済、技術交流の橋渡しとなっている。喜多議長は「われわれは環境を整えるのが使命。極東と北海道相互の経済交流、発展につながるよう、信頼関係をしっかりと構築したい」と語った。



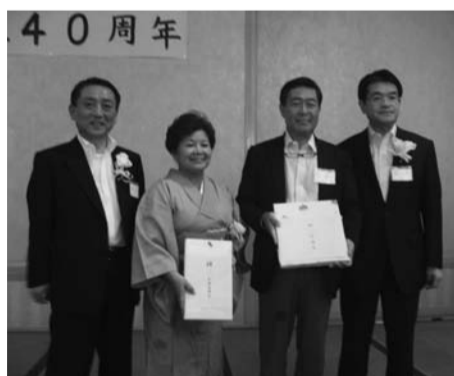
サハリン州議会表敬



サハリン州知事表敬



道とロシア極東地域との定例会議(ハバロフスク)



南加道産子会40周年式典



ハワイ州観光局表敬(マイク・マッカートニー局長)



タイ国際航空

自由民主
LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00180-1-19518

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.or.jp/>

2012年活動写真



喜多龍一女性の会 道議会研修



福島千里選手・山本幸平選手ロンドン五輪出場壮行会



太陽光発電実験プラント視察(高橋知事と米沢市長)



ミニパラジャパンカップ



オフロードレース全日本選手権大会



21北海道を拓く会総会



喜多龍一十勝連合後援会総会



大樹町家畜まつり



北方領土の日啓発街頭行進



マレック漁に挑戦!



全十勝小学生対抗相撲選手権大会



池田町商工会女性部知事室・議長室訪問



足寄ふるさと花まつり



北海道消防大会



都道府県議会議長会 農業環境委員会
視察 幕別 小川農場 和んじょ種芋



広尾町農村運動会



幕別明社 ふらっと札内清掃活動



音調津町内会運動会



北海道漁業協同組合長会50周年記念式典

我輩は秘書である

昨年大規模な自然災害が多発し冠水や停電等、住民生活や産業を脅かしました。災害時の対応や減災に向けた取り組みを新たな政権に期待します。

これまでの政権は、こども手当・高校授業料無償化・高速料金無償化等、給付給付の公約でした。これに引きずられるように、地方自治体も知恵を出し、小学生の医療費の無償化や定住対策等、競い合つて努力しています。同じお金を使うなら、給付ではなく所得向上につながる施策に知恵を出すべきじゃないか...どう思いますか? 新たな政権には、約束通り「自助」「自立」を第一に「共助」「公助」とは何かしっかりとした議論を期待します。

さて、喜多議長任期も残りわずかとなりました。これまで多くの皆様が議長室にお越しいただきました。心から感謝申し上げます。またの方は、何かのついでに連絡いただければご案内させていただきます。

今年も皆様と共に頑張つて参りますのでご声援よろしくお願い致します。

編集後記のかわり

追伸

喜多龍一のホームページも是非ご覧下さい。

<http://www.kitayuu.com>